

年間指導計画表

教科・科目	芸術科・音楽表現	単位数	2
		学科・学年・学級	普通科 第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美しいものに触れる喜び, 美しいものを意欲的に創造する態度を養う ・専門性を身につけ, 美しさを追求する態度を養う ・我が国の伝統音楽について, 理論とともに実技を行い, 理解を深める ・音楽理論, 音楽史を学ぶことにより, 音楽芸術に対する理解を深め, 自らの表現活動に活かす
使用教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・楽典 ・音楽ノート

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 音楽への関心・意欲・態度	音楽に向き合い, 自ら学び, 主体的に表現しようとしているか, 授業態度, 合唱, 器楽における意欲や姿勢を評価する。	授業態度・レポートなど	40%
b. 音楽表現の創意と工夫	多様な表現形式を理解し, 自らの表現に活かしているか, 単元ごとの発表により評価する。	発表・実技テストなど	20%
c. 音楽表現の技能	声, 楽器を活かして表現する技能を身につけているか, 単元ごとの発表により評価する。	発表・実技テストなど	20%
d. 鑑賞の能力	音楽の美しさを感じ, 自分の感じたことを自分の言葉で伝えることができるか, 発表, レポートにより評価する。	鑑賞態度など	20%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4~6	20	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽理論 ・聴音 ・視唱 	・音楽表現の基礎能力を身につける	○	○	○	
	6~9	16	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽理論 ・聴音 ・視唱 	・音楽表現の応用能力を身につける	○	○	○	
後期	10~12	14	<ul style="list-style-type: none"> ・和声理論の実習 ・専門実技能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・和声について学び, 楽曲の構造, 表現の幅を広げる ・専門実技能力の向上に努め, 表現の幅を広げる 	○		○	
	1~3	20	・日本音楽について	・鑑賞を中心とした内容で, 日本音楽の特徴, 良さを理解する	○			○

【その他】

年間指導計画表

教科・科目	芸術科・造形演習	単位数	2
		学科・学年・学級	普通科・文科型 第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い創造活動を通して、創ることの喜びを知り、意欲的に制作する態度を養う。 美しさを探求する態度を養い、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。 鑑賞する能力を身につけ、美術文化についての理解を深める。
使用教科書・副教材等	教科書、実技用具など

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	・美に対する感動や、自己の考えを主体的に表現しようとする。	授業態度など	20%
b. 芸術的な感受や表現の工夫	・多様な表現形式の特性を生かし、創造的な表現を追求することができる。	制作作品など	30%
c. 創造的な表現の技能	・工夫して(意図に応じて)材料、用具を活かして表現することができる。	制作作品など	30%
d. 鑑賞の能力	・美術の働きや美術作品の美しさや特質等について自己の意見を持ち、互いに批評しあうことができる。	鑑賞態度など	20%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
	4～5	10	静物デッサンⅠ (卓上静物)	観察力を養い、形体への理解を深める ・基本的な形体、構成などの表現について学ぶ	○			
	6	10	平面構成Ⅰ	アクリルガッシュの技法と表現を学ぶ ・アクリルガッシュの技法について ・平面構成の表現について	○	○	○	○
	7～8	8	立体構成 (摸刻)	立体構成の技法と表現を学ぶ ・道具の使い方について ・塑像の表現を学ぶ	○		○	○
	9	8	静物デッサンⅡ	観察力を養い、形体への理解を深める ・形体、構成などの表現について学ぶ	○			
後期	10～11	14	平面構成Ⅱ (モチーフ)	平面構成の技法と表現を学ぶ ・様々な平面構成について ・モチーフを使った平面構成について	○		○	
	12～1	10	立体構成 (イメージ)	立体構成の技法と表現を学ぶ ・様々な立体構成について ・イメージを元にした立体構成の考え方について		○		○
	2～3	10	テーマ制作	各自のテーマに基づいた絵画表現について学ぶ ・テーマ、表現方法、モチーフの選定について ・制作意図に応じた表現方法の工夫について ・表現材料の選定や技法の活用について	○	○	○	○
【その他】								

年間指導計画表

教科・科目	芸術科・書道表現	単位数	2
		学科・学年・学級	普通科 第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性を身につけ、書之美を追求する態度を養う ・我が国の伝統な古筆について、理論とともに実技を行い、理解を深める ・書道理論、書道史を学ぶことにより、書道芸術に対する理解を深め、自らの表現活動に活かす
使用教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書(一年次のもの) ・書道ファイル

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 書への関心・意欲・態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	授業態度・ファイルなど	10%
b. 書表現の構想と工夫	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	作品・ファイルなど	30%
c. 創造的な書表現の技能	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身につけて表している。	作品など	40%
d. 鑑賞の能力	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書よさや美しさを創造的に味わっている。	鑑賞態度など	20%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4~6	20	<ul style="list-style-type: none"> ・書道理論① ・古典臨書① 	・書道表現の基礎能力を身につける	○	○	○	
	6~9	16	<ul style="list-style-type: none"> ・書道理論② ・古典臨書② 	・書道表現の応用能力を身につける	○	○	○	
後期	10~12	14	・創作	・専門実技能力の向上に努め、表現の幅を広げる	○		○	
	1~3	20	<ul style="list-style-type: none"> ・書道史 ・古筆について 	・鑑賞を中心とした内容で、古筆の特徴、良さを理解する	○			○
【その他】								